

ESD 国際フォーラム 2008 について（案）

平成 20 年 9 月 29 日
文部科学省国際統括官付

1. テーマ・目的

持続発展教育（ESD）の更なる普及促進のために、より具体的な戦略とプロジェクトの策定、民間との協力と世界コンソーシアムの形成、教授法の研究、国連持続可能な開発のための教育の 10 年（DESD）の中間年（2009 年）に向けた評価等をテーマに意見交換を行う。

2. 日程

平成 20 年 12 月 2 日（火）～5 日（金）

3. 主催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ、 ユネスコ・アジア文化センター、国連大学（予定）

4. 会場：国連大学

5. 会議構成（案）

○ESD 国際フォーラム 2008（公開）

(1) 開会挨拶

・文部科学大臣、松浦ユネスコ事務局長

(2) 基調講演：ESD がもたらす可能性と期待

(3) テーマ別セッション

①ジェネラル・ディベート（全体討議）：ESD の普及促進に向けて

②パラレル・ディベート（議題別討議）：

1) フラッグシップ・プロジェクトの策定

2) パートナーシップ：世界コンソーシアムの形成に向けて

3) ESD の研究と革新

4) DESD 中間年に向けたアジア・太平洋地域レビュー

(4) 議論の総括：World Conference on DESD への提言

(5) ESD 実践校訪問・視察

6. 参加者（案）

ESD ハイレベルパネルメンバー、ユネスコ本部・地域事務所、国連大学、関係国連機関、ユネスコ加盟国政府、ESD 推進機関（大学、教育研究機関）、小中高等学校関係者、NGO（ユネスコ協会、ESD-J）、民間企業 等